

研究だより No. 1

令和5年10月2日（月）

Up! Up!!

豊島区立池袋第三小学校

本校の研究は令和3年度より、研究主題に沿って、カリキュラム・マネジメント（PDCA）の視点で教科を越えた探究型の授業改善に取り組んでいます。

「対話を通して、自分や友達の考えを広げたり深めたりして、よりよく解決しようとする児童」を育むため、今年度は「対話」「思考」「評価」「表現」の各場面の中の、「評価」「対話」の部分に重点を置き、研究を進めております。

各学年の友達と共に自分の学びに向かう姿や、その姿が見られるようにと考えた手立てなどをお伝えします。

研究主題

「友達とよりよく問題解決しようとする児童の育成」



目指す児童像

「対話をとおして、自分や友達の考えを広げたり深めたりして、よりよく問題解決する児童の育成」

◇各学年目指す児童像

〈低学年〉伝えることや聞くことを楽しみ、自分の思いや考えを広げられる子



〈中学年〉互いの考えの共通点や相違点に着目して話し合い、自分の思いや考えをまとめることができる子



〈高学年〉互いの立場や活動の意図を明確にしながら話し合い、自分の思いや考えを広げたり、深めたりすることができる子

◇単元における形成的なPDCAと問題解決の過程

P・・・対話（Plan）

問題解決のために必要な対話の力を身につける。

D・・・思考（Do）

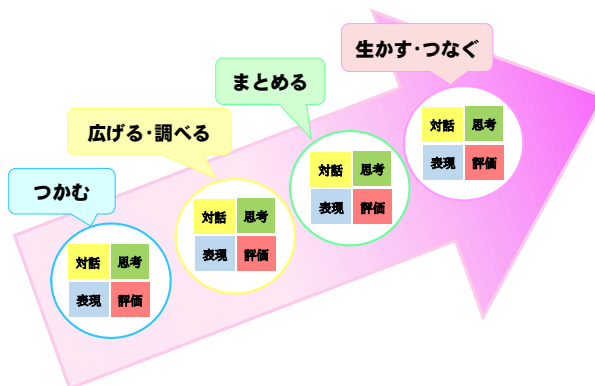
個人の考えを明確にし、集団での思考を方向付けて練り上げる。

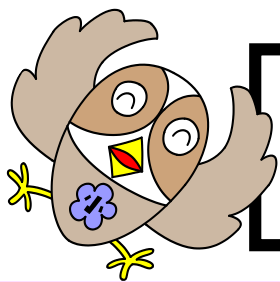
C・・・評価（Check）

学習活動を振り返り、個人や集団の考えを修正する。

A・・・表現（Action）

学んだことを整理したりまとめたりして表現する。改善策を提案する。



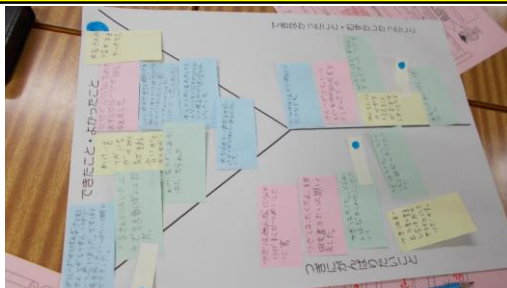


3年生

今年度、3、4年生は「友達と話し合いをする力をつける」を課題にして研究に取り組んでいます。3年生は、国語科で「友達の考えとの共通点や違いに注目してグループでまとめる」学習をしました。また、学んだ事を他の教科の話合いでも生かしてレベルアップしています。

第3学年 国語科 「山小屋で三日間すごすなら」

①考えを分類し対話を深める



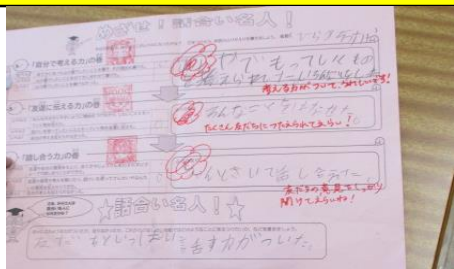
①学習を通した話し合いを各自で振り返り、一人一人色の違う付箋に考えを書きました。「できたこと・よかったこと」「できなかったことや難しかったこと」「次みがんばりたいこと」をグループで話し合う時に、「Yチャート」を使って分類したり、さらに話し合って付け足すことができました。

②司会台本で話し合いの進め方を分かりやすくする



②司会役・発表者を決めてから話し合いを始めました。司会の児童は台本を使うことで、話し合いの目的を明確にし進行をスムーズに行うことができました。話し合いも2段階になっていたため、視覚的にも分かりやすくするために段階で色分けをしました。どこまで話せばよいのか理解することができました。

③自分に身に付いた力を表現



③単元の中で身に付けたい力が書かれた学習カード「めざせ！話し合い人！」を毎時間の学習の振り返りで活用しました。学習で身に付けた「話し合う力」「次回話し合う場面で生かしたい力」「さらに伸ばしたい力」を一人一人が自己評価し、そのことを文章で表現することで明確に目標をもつことができました。

成果

話し合いの場面では、児童一人一人の発表の時間があり、「Yチャート」を使うことで話し合いが分かりやすかった。今までの学習の記録を生かして最後に自己評価できていた。

課題

グループの話し合いの「ベスト！☆」を決める基準を示すと、さらに話し合いを深めることができる。今後の話し合い活動で生かしていく。